

ている。

州政府は、一九八一年に出した報告書のなかで、次の十年間に新技術（ME、通信、ロボット、CADとCAM、特殊材料、バイオテクノロジー）の利用が急速に進むことを指摘した。政府の政策も現在のこの線に沿って、単に研究開発（R&D）の段階から、その実用化と利用促進に重点を移しつつある。

そのための施策のひとつとして、政府はCAD/CAMやME、ロボットなど先端技術を研究・普及する六つの技術センターを設立した。これらのセンターは昨年頃から活動に入っている。

観光産業

年間六五億ドルの収入

多彩な名所と行事

国際色豊かな近代都市トロント、建国の歴史を秘める首都オタワ、英国の情緒を残す港町キングストン、モリスバークの近郊にある十九世紀のカナダを再現したアッパー・カナダ・ビレッジ、雄大なナイアガラの滝、アルゴンキンなどの美しい自然公園——これらを訪れる観光客は、年間一億人にのぼり、オンタリオ州の観光産業は、製造業に次ぐ州第二の産業となっている。昨年は一億五百万人（そのうち二千二百万が米国人、約百万がその他の外国客）が、総額六十五億ドルの観光収入を州にもたらした。

州都トロントは、今年、市制百五十周

オンタリオ州主要産業の全国に占める比重(1979年)

産 業	出 荷 額 (100万ドル)	従 業 員 数 (1,000人)
自動車(含部品)	13,440(88)	75.9(90)
鉄 鋼	4,788(81)	36.6(78)
石油 精製	3,957(32)	2.8(38)
石 油 一般機械	2,775(64)	28.6(58)
食 肉 加工	2,348(35)	9.8(38)
紙 ・ パ ル プ	2,233(24)	17.8(26)
工業 化学(有機)	1,593(71)	4.9(13)
金 属 加 工	1,522(52)	13.2(60)
その他の食品加工	1,379(53)	7.3(54)
酪 農 製 品	1,317(30)	4.5(9)

()内は全カナダの生産に占める比重(%) 出所: Ontario Statistics 1982

年を迎えて、祭りの真最中。六月にはオペラ、バレエ、コンサート、演劇、セミナーなどを中心とするトロント国際フェスティバルが、一か月にわたって繰り広げられた。日本の前衛舞踏団山海塾も街頭出演して、市民や観光客から喝采を浴びた。トロントでは八月にカナダ・ナショナル・エグジビション（航空ショーなどイベント多数）やアジア・フェスティバル、十一月に農業祭など国内外からの客を魅きつける行事がまだまだ続く。そして九月十四日には、ローマ法王パウロ二世を迎えることになっている。

トロントが活気ある商いと生活の都市だとしたら、オタワは落ち着いた政治と文化の都市。国会議事堂の裏手に立つと、美しいオタワ川をはさんで対岸はもうケベック州である。市内には小さいながらも貴重な博物館がたくさんあり、国立アートセンター、国立美術館、あるいは世界各国の貨幣を造っているロイヤル・ミン

ト（造幣局）、広大なカナダ総督公邸など、首都ならではの観光名所が揃っている。春のチューリップ祭りから冬の雪と氷の祭典に至るまで、季節の行事にもたくさんの人がつめかける。

その他の都市では、毎夏のシェークスピア祭で有名なストラトフォード、バーナード・ショーを記念したショー・フェスティバルで知られる美しい町ナイアガラ・オン・ザ・レークなども、州の大切な観光地である。

今年、オンタリオ州に開拓の斧が入ってから二百年目。オンタリオ州には開拓の歴史をとどめる観光名所が多い。十九世紀の村と生活を再現した有名なアッパー・カナダ・ビレッジ、ドレスデンの「アンクル・トムの小屋」博物館、ゴードリッチの開拓者博物館など数えきれないほどの博物館や郷土館がある。一風変わった



世界的な観光地ナイアガラの滝。

た所としては、近代文明を拒否してユニークな生活様式を続けているアナパティイスト信徒集団メノナイトが住むキッチン・ハーブ・オンタリオの歴史を感じさせる。

トロントのオンタリオ・サイエンス・センターは、参観者が展示物を実際に動かして学べる科学館として有名だが、最

近完成したサドベリー（カナダ随一の鉱業地）の科学館サイエンス・ノースも、鉱山の学習を中心にした、世界でも珍しい設計の文化施設である。

州の自然も、観光の宝庫だ。ナイアガラの滝は言うまでもなく。モナーク蝶が美しいポイント・ビリー国立公園、広大な野生動物保護区になっているアルゴンキン国立公園など、州南の自然は、多くの人が憩う場所だし、ジェームズ湾（ハドソン湾）に臨む北の辺境開拓地ムーソニーや小型水上機でしか到達できない西北部のキャンプ地は、手つかずの自然の魅力をもった観光資源である。

農業

随一の混合農業地帯

畜産、野菜、果実が主

オンタリオ州の農業は、カナダで最もバラエティに富んでいる。農産物の種類は、穀物や畜産物、果実、野菜からタバコのような特殊作物まで、百種類にのぼっている。カナダとアメリカの大消費地を近くに控え、機械化された商業生産が早くから進んだことも、州農業の特徴である。

オンタリオ州の農業生産高は、一九七四年で約二十四億ドル。カナダ全体の二十七パーセントを占める。そのうち畜産と畑作物（野菜、とうもろこし、小麦、果実など）が全体のそれぞれ三分の一となっている。